

終了しました

シンボルプロムナード公園におけるロボット自律走行実験を実施

2025 年 3 月 6 日

株式会社東京臨海ホールディングス

国立研究開発法人産業技術総合研究所

東京都立産業技術研究センター

<背景>

2023 年 4 月に改正道路交通法の遠隔操作型小型車に関する規定が施行され、ロボットや自動運転車両の活用が一層進むことが期待されています。これらのロボットは、便利さを提供するだけでなく、社会全体の課題を解決し、より良い暮らしを実現するための仕組みづくりが求められます。そのためには、ロボットが人々に実サービスを提供しながら、実証・学習を重ねて成長できる環境を整えることが重要です。

こうした継続的なロボット実証を実施しやすく、各社のロボットが集まる場づくりを進める第一歩となる実証実験を行います。株式会社東京臨海ホールディングス（臨海 HD）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）および東京都立産業技術研究センター（都産技研）が、青海南地区のシンボルプロムナード公園において、産総研および都産技研のロボットを用いた自律走行実験（「みなし歩行者としてのロボット通行」）を実施します。今後、実証実験を重ねることで、ロボットが円滑に移動できる環境の整備を目指します。

<実証の内容>

シンボルプロムナード公園付近にて、産総研および都産技研が開発したロボットの自律走行実験（「みなし歩行者としてのロボット通行」）

使用ロボット

国立研究開発法人産業技術総合研究所

Hacobie（ハコビー）

東京都立産業技術研究センター

MiniTaurus（ミニタウロス）



目的

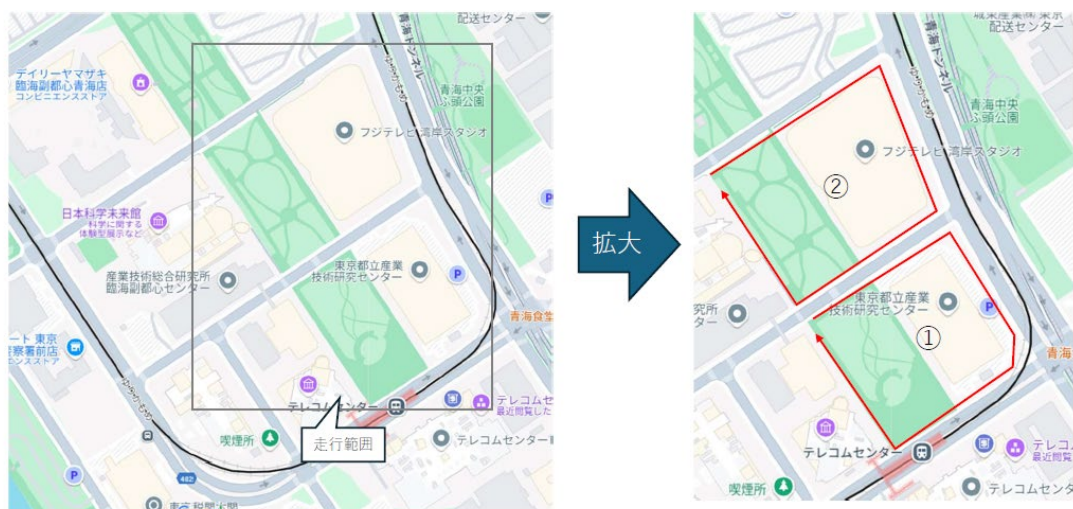
- ① ロボット実証実施までの一連の作業（各種申請手続き、実験準備・実施）を通じて、実証実験がし易いまちづくりとして、効果的なサポート機能を検討する。
- ② 産総研および都産技研がそれぞれ開発した自律走行ロボットを同一の環境下で走行させ、今後、民間企業のロボットも参加する場合を想定した実験環境の適応性や利便性に関する課題を抽出する。
- ③ 臨海HD・産総研・都産技研が連携し、青海地区を多数の企業が集まる自律走行実証フィールドとしていくにあたっての課題を明確化し、今後の多様なロボットを支える実証実験基盤づくりを開始する。

<開催概要>

実施日時 2025年3月19日（水）10時～17時 （予備日 同年3月21日（金））

開催場所 シンボルプロムナード公園（滝の広場付近、ウエストプロムナード）
および、周辺歩道

最寄り駅：テレコムセンター駅（ゆりかもめ）



今後のロボット実証参入に興味のある方の見学を広く募集します。

末尾の問い合わせ先へお気軽にご連絡ください。

<今後について>

青海南エリアにおいて、多くの移動ロボットが集まる実証実験がし易いまちを目指し、更なる賑わい創出に貢献していきます。

<問い合わせ先>

株式会社東京臨海ホールディングス 企画担当 03-5500-0075

産業技術総合研究所 人工知能研究センター 佐々木洋子 <y-sasaki@aist.go.jp>